



ATA



愛知県トライアスロン協会

一般社団法人 愛知県トライアスロン協会

2024年度 定時社員総会

2025年6月14日（土） 10：00～

フジコミュニティセンター 5階 第4会議室



◆議長挨拶

◆事務局報告

- ・定足数の確認
- ・議事録署名人の選出

◆審議事項

- | | | |
|--------|---------------------|-------|
| 議題 1 : | 役員改選 | |
| 議題 2 : | 2024年度事業報告 | |
| 議題 3 : | 同 決算報告 | ※別紙 1 |
| 議題 4 : | 中長期計画（2025－2030）（案） | ※別紙 2 |
| 議題 5 : | 2025年度事業計画（案） | |
| 議題 5 : | 同 予算（案） | ※別紙 3 |

◆総会資料

- ・本資料 「2024年度定時社員総会資料」
- ・別紙 1 「貸借対照表」「正味財産増減計算書」「附属明細書」
- ・別紙 2 「中長期計画（2025－2030）（案）」
- ・別紙 3 「収支予算書（正味財産増減計算書ベース）」
- ・別紙 4 「監査報告書」



◆役員改選について

- ・ 理事の任期は「選任後2年（定款第25条）」で、今年度が役員改選期。
- ・ 理事の人数は「10名以上30名以内（定款第21条）」
- ・ 理事については、**鈴木朗人理事が退任し、新たに佐藤圭一氏を選任し、残りの20名を重任**したい。
- ・ 監事については、**伊藤英之氏が退任し、新たに沼田英之氏を選任**したい。

現		氏名	新
代表理事	会長	國分 孝雄	重任
理事	副会長	竹内 元一	重任
理事	副会長	鈴木 貴里代	重任
理事	理事長	牛島 章博	重任
理事	専務理事	吉田 隆雄	重任
理事	事務局長	齋藤 大輝	重任
理事		吉川 朋子	重任
理事		福井 英郎	重任
理事		小嶋 俊久	重任
理事		竹内 鉄平	重任
理事		星野 喜宣	重任
理事		丹下 祐壮	重任

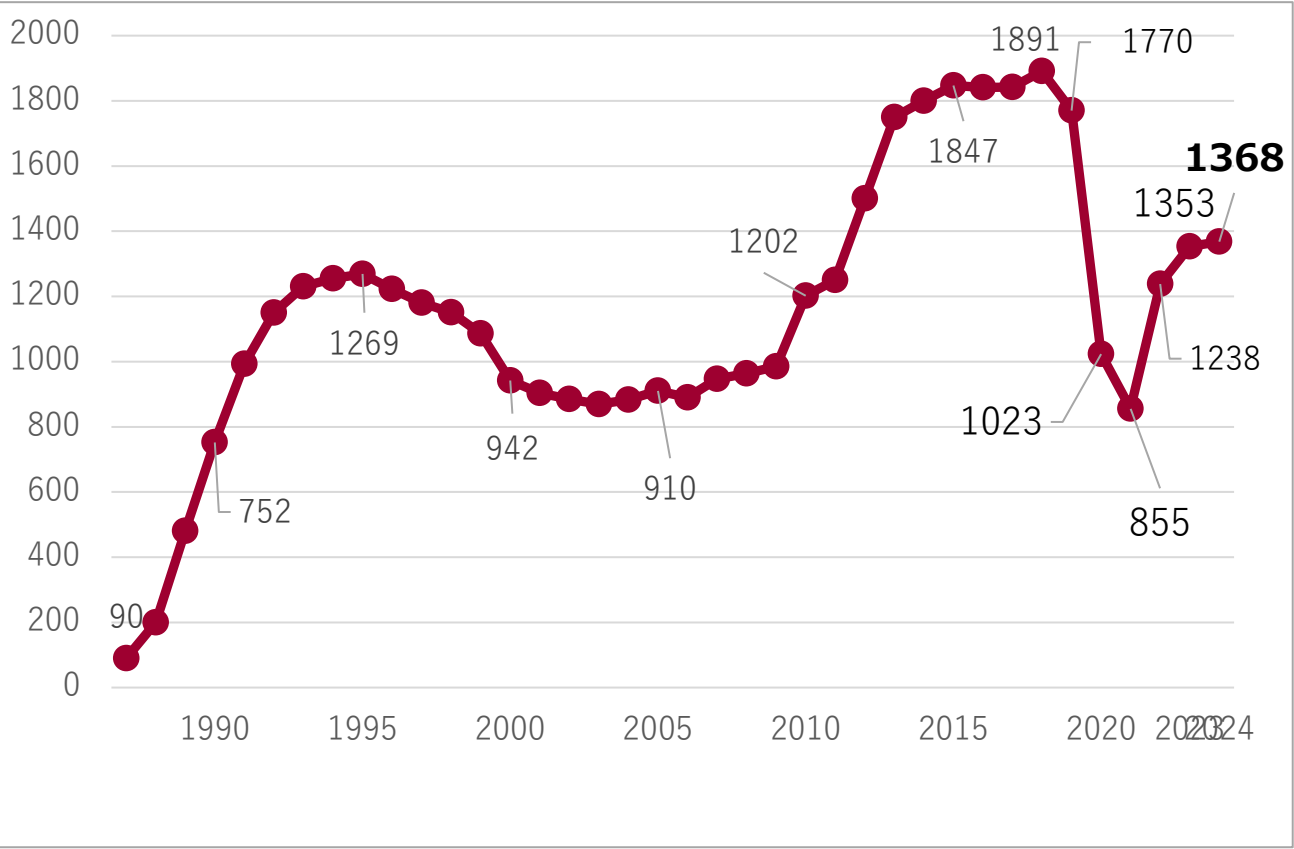
現	氏名	新
理事	深井 孝道	重任
理事	因田 良幸	重任
理事	三宅 正彦	重任
理事	鈴木 朗人	退任
理事	佐藤 圭一	新任
理事	市川 圭太	重任
理事	鈴木 正人	重任
理事	鈴木 由美	重任
理事	三上 千草	重任
理事	吉田 美鈴	重任
監事	伊藤 英之	退任
	沼田 英之	新任



◆会員数：3月末現在 **1,368名**（対前年+15名）

・新型コロナで落ち込んだ会員数は、徐々に回復傾向にあるものの、コロナ前の1800名水準までは回復していないため、今後、会員数の維持拡大の取り組みが必要。

【会員数の推移】



【会員内訳の変化】

会員区分	2021 年度末	2022 年度末	2023 年度末	2024 年度末
ジュニア	32名	49名	53名	54名
高校生	13名	14名	16名	14名
一般	740名	1,089名	1,214名	1229名
審判	70名	86名	70名	71名
計	855名	1,238名	1,353名	1,368名



◆競技事業

- ・「アイアンマン70.3東三河ジャパンin渥美半島」が開催されなかったこともあり延べ参加選手数は2023年度を下回ったが、**7大会中6大会が前年を上回る参加人数**となった。
- ・競技人口の拡大にむけて、アクアスロン大会4戦による「ATAアクアスロンチャンピオンシップシリーズ」を展開中。

日時	大会名	2024年度	2023年度	(増減)
5月26日	リバーアクアスロンin長良川	66名	56名	+10名
	アイアンマン70.3東三河ジャパンin渥美半島（※）	中止	763名	
6月16日	アクアスロン・スプラッシュ&ダッシュin小野浦	114名	102名	+12名
6月22日	蒲郡オレンジトライアスロン大会	897名	823名	+74名
8月 4日	アクアスロンinラグーナビーチ	191名	178名	+13名
8月11日	キッズトライアスロンin西尾一色（※）	142名	119名	+23名
9月 8日	トライアスロン伊良湖大会（※）	967名	994名	▲27名
10月 6日	Kirakiraアクアスロンinワイキキビーチ	125名	102名	+23名
		2,502名	3,137名	

※印：当協会が運営協力する大会。それ以外は当協会が主催する大会



◆強化事業

【強化指定選手の活躍状況】

区分		人数
JTU	エリート強化指定選手	0名
	パラ強化指定選手	1名
	タレント選手	3名
愛知県	強化指定選手	6名

大会名	カテゴリー	選手名
日本スプリント選手権（長良川）（7/21）	1位	杉浦 華夏選手
	3位	林 彩夢選手
日本ロングディスタンス選手権（佐渡）	3位	前田 乙乃選手

【認定記録会・強化練習会の開催状況】

	月日	参加人数
国体強化合宿	8/17-8/18	7名
国体強化合宿	9/21-9/22	10名
JTU認定記録会	2/16	43名

【ジュニア選手権エントリー費補助】

- ・ジュニア強化選手2名を対象に、U19選手権エントリー費の一部（40,000円）を補助。



◆普及事業

【日本選手権・JTUエイジランキング入賞者への表彰】

・全国レベルの大会にて優秀な成績を収めた**45名**を表彰（**副賞総額148,000円**）

大会区分	人数
日本U19スプリント選手権、 ロングディスタンス・ナショナルチャンピオンシップ	2名 1名
JTUエイジランキング	42名

【ATAポイントランキング（ジュニア・エイジ・アクアスロン）】

・ATAポイントランキングおよびアクアスロンチャンピオンシップシリーズで優秀な成績を収めた**124名**（**ジュニア35名、エイジ37名、アクアスロン52名**）を表彰（**副賞総額393,500円**）

カテゴリー		人数
ATAポイントランキング	小学生（各学年男女1～3位）	22名
	中学生（男女1～3位）	6名
	高校生（男女1～3位）	7名
	エイジ（各エイジ男女1～3位）	37名
アクアスロンチャンピオンシップシリーズ	中学生（男女1～3位）	7名
	高校生（男女1～3位）	2名



◆審判資格保有者数

・JTU資格保有者の人数は前年と同じ水準であった。

	JTU資格	WT資格
2023年度	117名	10名
2024年度	118名	11名
増減	+1名	+1名

◆活動実績

・記録会や大会における審判の活動実績は349人日となった。

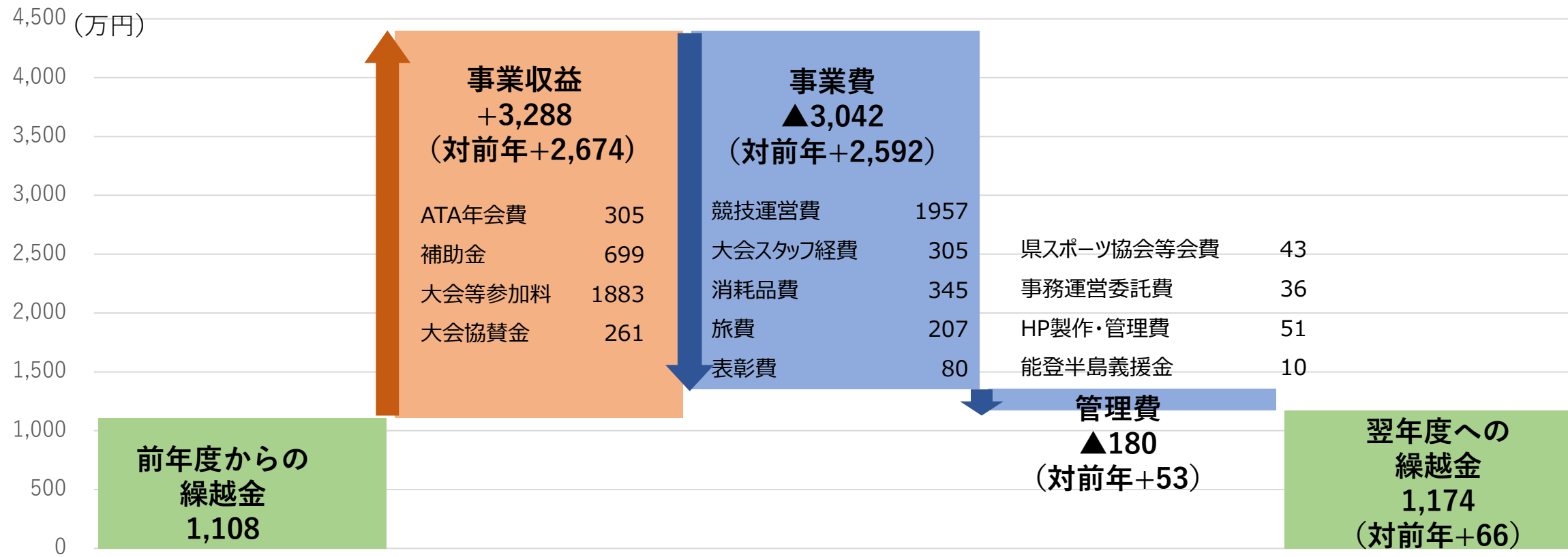
区分	大会数	延べ活動人数
JTU認定記録会	1回	7人日
アクアスロン	4大会	84人日
トライアスロン	7大会	232人日
トライアスロン（キッズ）	1大会	26人日

◆「審判員ポイントランキング表彰」の導入

・年間での活動実績が顕著であった1名を表彰（副賞総額10,000円）

◆決算概況

- ・日本スポーツ振興センターからの補助金を受けるため蒲郡オレンジ大会をATA直営方式に変更したことにより、**「事業収益」と「事業費」それぞれが約2,600万円程度増減**した。
- ・管理費については、アクアスロンシリーズ用のHPを新規製作（35万円）したこと、JTUの呼びかけにより能登半島義援金（10万円）を支出したことから、対前年+53万円増加した。
- ・**年間収支では+66万円の増収**となり、2025年度への**繰越金は1,174万円**となった。



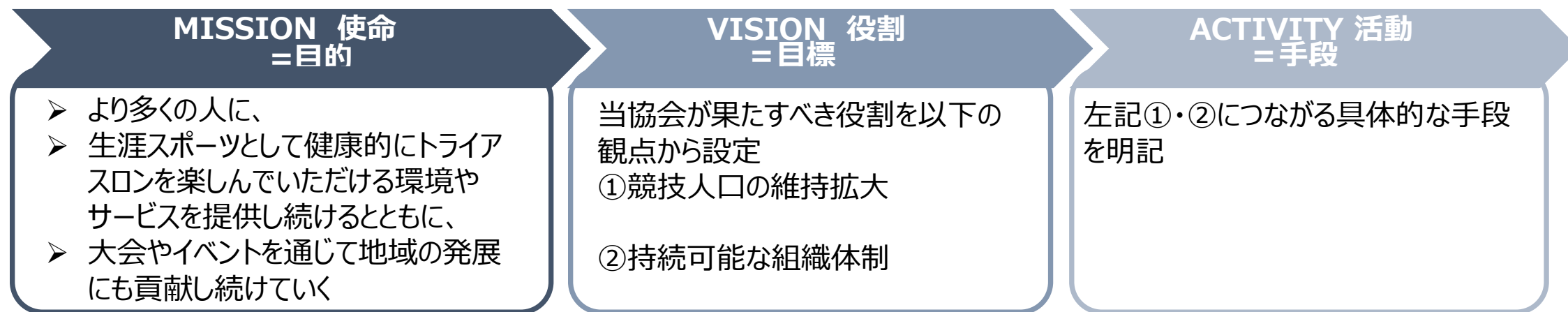
※詳細は別紙 1「貸借対照表」「正味財産増減計算書」「附属明細書」のとおり。

◆経緯

- ・**スポーツ庁が定めるガバナンスコード**では、「スポーツ団体（一般団体）は組織運営に関する目指すべき基本方針を策定し公表すべきである」とされている。
- ・これを受けて、**JTUは傘下の各県競技団体に対して、2025年度中に基本方針を策定し公表することを要請**していることから、当協会としてもこれに対応する。

◆中長期計画（2025－2030）の概要

- ・今後の人口減少や物価高などの社会的・経済的变化などの不確実性を視野に入れて検討



※詳細は、別紙 2「中長期計画（2025－2030）（案）」のとおり

◆公表

- ・総会での承認後、速やかに協会HPにて公表



◆総論

中長期計画に掲げたとおり、**より多くの人に生涯スポーツとして健康的にトライアスロンを楽しんでいただける環境やサービスを提供**し続けるとともに、大会やイベントを通じて**地域の発展にも貢献**し続けていくことを基本方針とし、その実現のために、「**競技人口の維持拡大**」と「**持続可能な組織体制の構築**」につながる施策を展開する。

◆大会スケジュール

日時	大会名
5月18日	リバーアクアスロンin長良川（★）
6月22日	蒲郡オレンジトライアスロン大会
6月29日	アクアスロン・スプラッシュ&ダッシュin小野浦（★）
8月 3日	アクアスロンinラグーナビーチ（★）
8月10日	キッズトライアスロンin西尾一色（※）
9月14日	トライアスロン伊良湖大会（※）
9月20・21日	アジアカップ・2026アジア大会開催記念大会
10月 12日	Kirakiraアクアスロンinワイキキビーチ（★）

※印：当協会が運営協力する大会。
それ以外は当協会が主催する大会

★印：ATAアクアスロンチャンピオンシップ
シリーズ対象大会



◆強化事業

- ・これまで同様に、国体にむけて強化対象選手を選抜し、強化練習会を開催。
- ・ジュニア強化選手の選手権エントリー費補助は継続実施
- ・パラアスリートへの支援策を充実

◆普及事業

- ・ATAポイントランキング（エイジ・ジュニア）およびアクアスロンチャンピオンシップシリーズを継続実施。
- ・新規加入の増加や既会員の退会抑制のため、トライアスロン3種目に囚われず、マルチスポーツ（アクアスロン、デュアスロン等）の新規大会や新規イベントの開催にむけて調査検討

◆社会貢献活動

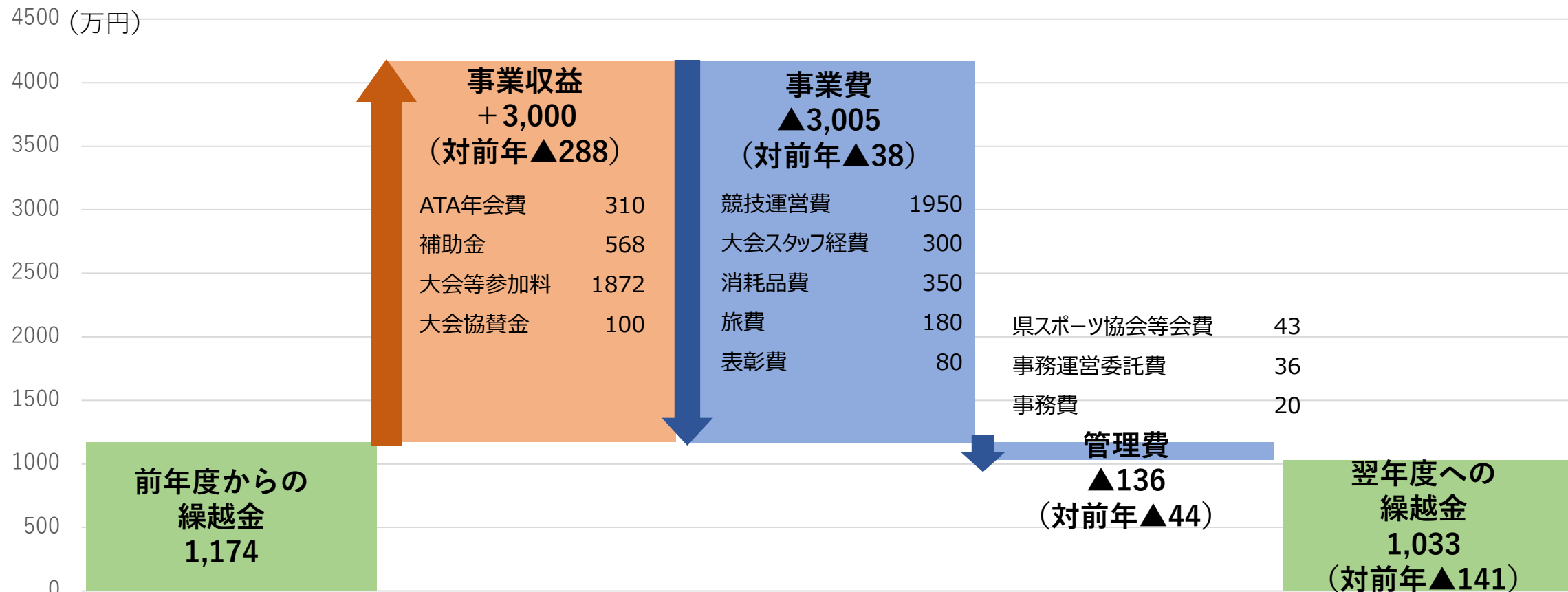
- ・ボランティア団体と連携し、蒲郡大会前日にプロキング（ごみ拾い＋ジョギング）活動を実施。

◆審判事業

- ・新規勧誘の活発化
- ・「審判員ポイントランキング制度」を継続実施。

◆予算案

- ・事業収益については、補助金の減（▲131万円）や大会協賛金の減（▲160万円）により、対前年▲288万円の減少見込み
- ・事業費については、国民スポーツ大会開催地（佐賀県→滋賀県）による旅費▲20万円などにより、対前年▲38万円の減少見込み
- ・管理費：昨年度のHP製作費（35万円）や義援金（10万円）の反動減などにより、対前年▲44万円の減少見込み
- ・翌年度の繰越金は1,033万円（期首▲141万円）となる見込み。



※詳細は別紙3「収支予算書（正味財産増減計算書ベース）」のとおり